



旧獅子頭で舞納め 新獅子頭が里に舞う

河野大宮神社 春季祭典

旧頭に感謝し
新調した頭で
さらなる精進を

河野大宮神社獅子お囃子保存会

3月28・29日の両日、河野大宮神社の春季祭典が、天候にも恵まれ、賑やかに開催されました。今回の春季例祭の獅子舞は、百数十年ぶりと成る、獅子頭の引き継ぎ式が行われ、厳粛な中に、旧獅子頭から新調となった獅子頭へと引き継がれました。

河野に獅子舞が伝わったのは明治初期と言われ、旧獅子頭の製作年度は



はつきりしませんが、過去に2度程の大修理を経て、今日まで使用してきました。

神社、区内での演技を始め、毎年南信州獅子舞フェスティバルへの参加や7年に1度開催されるお練り祭りへの参加、また、12年前には秋田県由利本荘市で行われた全国獅子舞フェスティバルにも参加をしています。

長年の使用による経年劣化により、獅子頭を新調したいと準備を進め、令和7年度県の補助金が確定。製作にとりかかり1月末には新たな獅子頭が完成しました。

この獅子頭の製作に



新 旧

は、名古屋市の「岡田や佛壇店」の協力をいただき、彫り師に早川高師氏、塗師に榎田信昭氏、箔師に後藤勝巳氏、蒔絵師に鈴村道子氏等の協力を得て、旧頭とほぼ同じものができあがりしました。頭新調に合わせ幌も飯田市の「染物処スミツネ」に依頼し製作しました。

当日は、旧頭による舞納めを行い、宮司による神事、新頭による舞い始めを行い、恒例の中学1年生によるおかめ踊りと共に、区民の皆さんにお披露目ができました。翌日の昼祭りには、区内全自治会を回り、お披露目しました。

新調となった獅子頭を、この先も大切に、保存会、獅子舞のさらなる精進を誓い、2日間の祭りを終えることができました。

そのほかの奉納余興では新メンバーとなって初めての演奏となる、北小お囃子子ども会のお囃子演奏や、二十歳を迎えた若者による壮丁踊りも披露され、宵祭り、昼祭りとも大いに盛り上がりました。

地域の絆、ここにあり

令和8年度 公民館役員紹介

- | | |
|--|--|
| <p>【本館】</p> <p>公民館長 市澤 和宏</p> <p>社会教育係長兼公民館主事 遠山 理沙</p> <p>公民館主事 辻元 慎二</p> <p>【図書館】</p> <p>田中絵美里</p> <p>竹村 里香</p> <p>山口里佐子</p> <p>山下 智章</p> <p>原 明美</p> <p>【図書委員】</p> <p>山下 智章</p> <p>【分館長】</p> <p>井原 茂 (一分館)</p> <p>池野 誠 (二分館)</p> <p>丸山 宗近 (三分館)</p> <p>吉川 剛 (四分館)</p> <p>宮下 正弘 (五分館)</p> <p>唐沢 伸彦 (六分館)</p> <p>高田 浩紀 (七分館)</p> <p>【分館主事】</p> <p>北原 徹也 (一分館)</p> <p>北澤 泰紀 (二分館)</p> <p>片桐 健吾 (三分館)</p> <p>木下 智胤 (四分館)</p> <p>宮下 智治 (五分館)</p> <p>三島 克喜 (六分館)</p> <p>王生 健太 (七分館)</p> <p>【社会部】</p> <p>部長 菅沼 秀夫</p> <p>副部長 片桐 達司</p> <p>片桐 林三</p> <p>小椋 司</p> <p>王生 彰</p> <p>菅沼 松村 佐織</p> <p>安田 明博 (分館選出)</p> <p>木下 祐次 (分館選出)</p> <p>酒井 夏樹 (分館選出)</p> <p>菅沼 篤 (分館選出)</p> <p>河野美佐子 (分館選出)</p> <p>小池 光好 (分館選出)</p> <p>木下 悟 (分館選出)</p> <p>【館報編集委員】</p> <p>小池 光好</p> <p>宮下 正弘</p> <p>原 明美</p> <p>小池 淳子</p> <p>池野 隆</p> | <p>福澤 郁文</p> <p>矢野 智志</p> <p>遠山 理沙</p> <p>【体育部分館代表】</p> <p>甲斐 康二 (一分館)</p> <p>片桐 信 (二分館)</p> <p>岩井 傑 (三分館)</p> <p>竹内 和規 (四分館)</p> <p>三澤 学 (五分館)</p> <p>村松 孝文 (六分館)</p> <p>王生 晃輔 (七分館)</p> <p>【公民館運営審議会委員】</p> <p>毛涯 計人 (一分館)</p> <p>福澤 郁文 (二分館)</p> <p>原 幸治 (三分館)</p> <p>吉川 文子 (四分館)</p> <p>後澤 薫 (五分館)</p> <p>小池 光好 (六分館)</p> <p>横前 光一 (七分館)</p> <p>古村 淳仁 (学校)</p> <p>筒井 隆彦 (PTA)</p> <p>今村貴美子 (社協委)</p> <p>米山 正勝 (JA)</p> <p>長谷川義久 (区長会)</p> <p>竹村 敏典 (商工会)</p> <p>【スポーツ推進委員】</p> <p>酒井 浩文</p> <p>中原美穂子</p> <p>田島 紀子</p> <p>酒井 泰尚</p> <p>唐澤 麻耶</p> <p>武田 拓樹</p> |
|--|--|

●大写真

堀越春日神社春季祭典
令和8年4月11日(土)・12日(日)

3月下旬～4月中旬、村内各地の神社で春季祭典が執り行われました。堀越の春日神社では、11日の宵祭り、12日の昼祭りで伝統の獅子舞が奉納されました。昼祭りでは初宮参りと入学入園祝いも行われ、地域の子どもの成長を皆で祈願する温かなお祭りとなりました。

新 南小学校・北小学校・中学校 校長 着任挨拶



鳥の巣があるんだよ。おじいちゃんが見つけたんだ。」夜間照明の上の方をみんなで見上げ大発見

自然いっぱい豊丘で230名の元気な子どもたちと校長としての生活をスタートすることができ

「やっとなついたら」入学式翌日の朝、がんばって歩いてきた一年生が校門の前で大きな歓声をあげました。きつとその道のりは大冒険だったことでしょう。

「校長先生、あそこに



4月より、豊丘北小学校の第四十五代校長として着任いたしました。四十五代目という数字に、歴史の重みを感じるとともに、伝統ある学校を任せていただく人間たるべく、さらに精進していか



4月に豊丘中学校校長として着任いたしました。下平将揮と申します。生徒や先生方の清々しい挨拶、真剣に学び合う姿に、私自身も「頑張るぞ！」とエネルギーをいただく毎日です。

私は、生徒たちに「三

開校140周年の豊丘南スタート

豊丘南小学校長 松島直美

「これあげる。」手には四ツ葉のクローバー。幸せを分けてもらいました。来年度は、開校150

きました。何事にも丘の子たちと共にチャレンジしてまいります。ご支援、ご協力をよろしく

みんなが楽しく学校に

豊丘北小学校長 古村淳仁

ねばならないと、気持ち新たにしたところです。さて、学校は楽しい所です。たくさん挑戦がで

り、導いてくださる地域の皆様の存在です。村の宝である子どもたちが、毎日楽しく学校に通えるよう、そして、変化の激

居心地のよい居心地の学校に

豊丘中学校長 下平将揮

「この楽しみ」を見つけてほしいと願っています。①主体的に学び、対話を通じて「わかる」と実感

がよくなったよ」と笑顔で話してくれる学校を共につくってまいります。そして、ご家庭でもぜひ「学校の居心地はどう？」と、温かく声をかけていただければ幸いです。どうぞよろしくお願



令和8年度 豊丘村公民館学習会



公民館がSDGsに取り組み始めて6年、徐々に村民の皆さまの間にもSDGsの意識が広がってきたように感じられます。小さな気づき、わずかな行動でも、皆さんで取り組むことで大きな動きに繋がっていきます。これからも世界が目指す目標に向かって、一緒に学び取り組んで参りましょう。【午後1時20分～3時 交流学習センターゆめあて】

回	月日	内容・講師	持続可能な開発目標	備考
1	5月26日(火)	開講式 『延寿院住職の講話』 延寿院 住職 伊佐栄豊氏	3, 4, 11, 16	一般可
2	6月24日(水)	『身体の優しい使い方について』 田中整形クリニック院長 田中直史氏	3, 4	一般可
3	7月12日(日) 10:00～	第4回とよおか元気塾共催 ※講演内容は決定次第ご案内します。 日本テレビキャスター 笛吹雅子氏	3, 4	一般可
4	8月21日(金)	『税金のお話』 松本税務署 原 広報広聴官	4, 10, 16, 17	一般可
5	9月10日(木)	バスハイク ～長野市「古代エジプト展」と善光寺をめぐる～	4, 11	受講生のみ 出欠連絡要
6	10月7日(水)	『人権について』 南信教育事務所飯田事務所 指導主事	3, 4, 10, 11, 16	一般可
7	12月10日(木)	ワークショップ 伝統工芸・水引細工で正月飾りを作る (有)関島水引店 関島正浩氏	4, 9, 11	受講生のみ 出欠連絡要
8	1月19日(火)	『体操・健康づくり』 南信教育事務所 飯田事務所 指導主事	3, 4	一般可
9	2月12日(金)	ワークショップ 折り紙の世界 折り紙アーティスト 竹内恵子氏	4, 11, 12	受講生のみ 出欠連絡要
10	3月11日(木)	『マリンバ演奏会』 開講式 林 宗吉氏	3, 4, 11	受講生のみ 出欠連絡要

こちら資料館 264

神稲生まれの画家 清水史郎について

現在「ゆめあて」で公開中の「飯田創造館譲渡作品展」はご覧いただきたくてでしょうか。豊丘所縁の二人の作家のうち、日本画の清水史郎氏について新たな情報をいただきましたので紹介します。史郎氏には「カラスの

いる大学」という自叙伝がある事が分りました。幼少時から東京芸大を卒業するまでの自身のことをまとめた本です。残念ながら神稲についての記述はありません。しかし、生い立ちや家族について、多くの事が分かりました。生まれは昭和二〇年三月。兄二人、姉五人の八番目の子として生まれました。後に弟ができたので、子ども九人の大家族の中で育ちました。

父は当時神稲学校の教員でしたが名前が分かりません。そこで、豊丘南小で調べていただいたところ、清水姓は校長の清水

義穂先生しかいないことが分かりました。これで史郎氏の父は当時の神稲国民学校の校長であったことがはっきりしました。義穂氏には飯田の小伝馬町に自宅があったのですが、任地居住が当たり前の時代でしたので、神稲の教員住宅に一家で住んでいたのでしょうか。それで史郎氏は神稲生まれとなったと思われる。その後、史郎氏は浜井場小、飯田東中、飯田高校と進んでいます。昭和四三年、芸大を卒業し都立高校の教員となった史郎氏ですが、日本画を生涯の仕事として

独自の世界を開拓してきました。退職後も画業に専念していましたが、令和六年三月、東京の自宅のアトリエで亡くなりました。七八歳でした。情報を提供頂きました方々に感謝申し上げます。資料館主任 唐澤武彦

史学会歴史講演会のお知らせ

日時 令和8年6月14日(日)午後1時30分～
場所 交流学習センターゆめあて大ホール
演題 『南信の諏訪信仰 - 雑録を通して考える -』
講師 笹本 正治 先生 (信大名誉教授・前県立歴史館特別館長)
戦国時代研究の第一人者、笹本先生に、諏訪大社ゆかりの「雑録」についてお話しいただきます

図書館だより 5月号

< 読み聞かせのご案内 >

図書館では、6月に図書館職員による読み聞かせを開催いたします。

日時：6月13日(土) 11時00分～(30分程度)

内容：絵本読み聞かせなど

場所：図書館キッズコーナー

対象：保育園児以下

どうぞみなさんお越しください。

< 移動図書のご案内 >

6月の移動図書

5日(金) 壬生沢福島集落拠点施設

時間 午後8時～9時

< お知らせ >

6月末頃まで「おはなしの木」を展開中です。葉っぱにおもしろかった本の名前を書いて木に貼ってみましょう。葉っぱをどんどん増やそう！

6月は読書月間です。来館特典のスタンプがこの期間中は2倍になります。雨の日は外出が減りますが、読書を楽しむのにぴったりの季節です。ぜひ図書館にお立ち寄りください。

図書館 竹村里香



今月のほんだな



理想の国語教科書

・赤版・決定版

著者：齋藤 孝

出版社：文藝春秋

贈りびと ビオラの会

平成時代大ベストセラーとなった齋藤孝先生のシリーズ。古今東西の名作名著のハイライト部分が詰まった本です。作品そのものはもちろん、この作品をなぜ選びこの部分をなぜ抜粋したかという作品作者に寄せる感動や思いの込められた、分かりやすく説得力のある齋藤孝先生の絶妙な解説が、読み手の心を掴みます。

「夏目漱石は最強の日本語トレーニングメニュー。硬さと柔らかさがハイレベルに調整されている。」「ボケとツッコミという日本の漫才の基本形はすでに『ドンキホーテ』で完成されていた。」「癖の強い饒舌な人間たちを描かせたら世界一、それがドフトエフスキー。」難しいと思っていた作品作者に親しみが湧いてきます。

この本は最初のページから読まなくてもいいのです。興味を持ったページをめくってみてください。昼休み、スマホをみる時間をほんのちょっと削って、「ちょこっと読書」はいかがですか。

つどろ！つながる！仲間たち

公民館登録グループ・体育協会加盟団体

豊丘いきいき楽農塾

楽しく農業やっています！

代表 大原 俊秀

楽農塾の圃場は泉龍院のすぐ下に借りており、春・夏・秋に作物を作っております。春にはじゃがいもを植え、昨年の収穫時は保育園児50人に来てもらい、じゃがいも掘りを体験してもらいました。また、白菜・王滝かぶを作り、とよおかまつりで販売もしております。農作業ばかりではなく、秋には日帰りの研修旅行に行ったり、収穫祭では、自分たちで栽培した蕎麦を打ち、楽しく食事をしたりと、「楽しんで楽しく」を「モットー」に、会員の交流を深めています。



ダンススポーツとよおか

今を楽しむ

代表 丸山 美登里

年齢に関係なく健康でいたいというのは誰も同じです。社交ダンスはそんな運動にピッタリ。相手が変わっても基本は同じ、誰とでも踊ることができる、こんなすばらしいこと他にないのでは？相手が10代～90代でも同じように相手ができる素晴らしいダンスなのです。音楽に合わせて体を動かす、無理のない自分に合わせた運動をすればいい、ステップを覚えることで頭の運動になります。心と体の運動だと思っています。



段丘俳句会

- 友よりの初筍や香放つ 片桐洋子
- 初音聞く世界の戦さ憂えつつ 森田恵子
- 谷深く木五倍子色めく雨の糸 木下眞水
- お形見となりし水仙咲きはじめ 松岡照子
- 東雲の照らし返すや花辛夷 宮下純子
- 段丘の園児ら毳毳と春帽子 丸山時子
- 屈みては拝む秘仏や花の雨 林恵美子
- 産土桜地に触れたしと枝垂けり 矢島千勢子
- 武骨なる樹齡千年花吹雪 池田美和
- 初蝶の生るるや翅の青き濡れ 吉川明子
- ダム湖まで車窓を流る山桜 細井恵子
- 花明り見守し孫巢立ちゆく 石田美佐子
- 開帳や頬笑ゆたな観世音 北原昭子

とよおか短歌会

- 湯タンポの入りたるベッドにもぐり込む 筒井恵子
- 孫娘の寝息をそっと見守る
- ぶんたんのたねをまいたよおばあちゃんと
- いつになつたらめがでるのかな 小一 筒井あ月
- 山並みの雪消えゆくも天龍川の
- 水高下り中洲広がる 福澤貴美恵
- 富士山の動かぬ勇姿願わくば
- 病む弟に力与えよ 松尾ヒサコ
- 斑雪残る坂道伊那の山霧
- たちこめて朝日輝く 福澤郁文
- 卒寿すぎ尊き日々を慈しむ
- 生ける証に短歌と道づれ 毛涯百合子
- ゆるゆると歩けば背後から「こんにちは」
- 青年笑いてさっと過ぎ去る 大原眞由美
- 若きよりライススレーが好物で
- 卒寿過ぎても加齢ライスよ 福澤亀人

文字は、昭和30年7月発刊の第1号から、題字は同年9月発刊の第2号から、令和8年3月発刊の第781号まで。



段丘

「足つぽ健康法」をみなさんご存知でしょうか。実をいうと、私は10数年前に足つぽの勉強をしていて、実際に足つぽ整体師として数多くの方の足裏を施術していた。

足つぽという痛いというイメージがあるが、実は健康な人はそう痛くない。逆に不健康な人はとてつもなく痛いというのは私の経験上間違いのない事実である。足裏には身体の臓器と繋がる神経がたくさん集まっており、その集合点が足つぽ。そこを刺激してあげると繋がる臓器が活性化して元気になるといのが足つぽ健康法なのだ。

例えば、頭(脳)のつぽは足の親指にある。ここを刺激してあげると、脳へ神経を介して刺激を与えることができる。記憶力(認知)などの向上に繋がるのだとか。手で足の親指を揉んで刺激を与えるのも良し、もっと簡単な方法としてはウォーキング。少し大腿で歩いて足の指をしっかりと使ってあげると、より足指に刺激を与えられるのでおすすめです。もっと詳しく知りたいという方はぜひご連絡を。

編集委員 矢野 智志

ヒトリシズカ (センリョウ科)
ニリンソウ (キンポウゲ科)
ムスカリ (キジカクシ科)



一人静



三輪草



ムスカリ

このシリーズを始めて間もない平成16年、フタリシズカを紹介。その時、ヒトリシズカ(一人静)の存在を書きながら、そこで、今月はヒトリシズカを取り上げ、ニリンソウ(三輪草)とムスカリ(ムスカリ)を紹介する。ムスカリは外来種(地中海沿岸のせいだらうか。日本名の紹介がない。でも、ブドウの房のように密集して咲き、存在感あり。

山田拓

— 豊丘村を選んだきっかけ

正直にいうと偶然。枝木の栽培をするために、実際に豊丘村へ足を運んでみたが、その時出会った方々がすごく良くしてくれた。果樹農家にも興味があったが、本当に美味しい果物が年中ある豊丘村の魅力が移住の背中を押してくれた。

— 豊丘村での現在の暮らし・活動

経塚原、駒沢を中心に花木を植えたり、遊休農地を開墾、整地をしている。他には花木の剪定や収穫、出荷など多岐にわたる。

移住してすぐに春祭りの獅子舞に参加。その時出会った人たちが経塚原の開墾を手伝いに来てくれ、「お礼は開墾の際に出る薪でいいよ。」とってくださいたり、自分の作業を見ていた村の方が、花木を無償で提供してくれたり、とても応援してくれている。

— 豊丘村に住んでみて感じたこと

人がとても温かい。押しつけがましくなく、良い距離感で接してくれて、すごくありがたく感じている。石川県に比べると雪や雨が少なく、気候が非常に良い。花木にとってはもう少し雨が降ってほしいが…。

あの人 この人 ②

おいでなんしょ ①



— 豊丘村への想い

周囲の方々がすごく気にかけてくれることに感謝している。どこかで何かしらの恩返しをできるようにしたい。

— 豊丘村でのこれからの暮らし

大きな夢として2つ。「村の遊休農地をすべて解消」と「花木で雇用を生み出したい」。

プロフィール

長谷川 蓮さん (南市場)
1990年生まれ 36歳
石川県小松市出身
前職は介護職を11年
地域おこし協力隊 3年目
移住を機に花木の農家に



きらり☆豊丘村のこどもたち

日々の努力が実り、豊丘村から全国大会へ！

3月下旬に開催された各種スポーツの全国大会。豊丘村の小・中・高校生の選手たちが、予選を勝ち抜いて全国への切符を手に入れました。日々のひたむきな努力のたまものです。選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。これからも応援しています！

第45回 全国高等学校空手道選抜大会



熊崎結太さん
飯田高校 2年 (大会時)



田島銀次朗さん
飯田高校 1年 (大会時)



宮内一平さん
飯田高校 2年 (大会時)



令和7年度都道府県対抗
全国中学生ソフトテニス大会
坂巻絢哉さん 豊丘中学校 2年 (大会時)



第48回 JOCジュニアオリンピック春季水泳競技大会
清水りんかさん (写真中央)
豊丘南小学校 6年 (大会時)

豊丘村の「これ」知ってる？

この不思議な巨岩「明神石」は、村内のどこにあるでしょうか？



【答え】 壬生沢諏訪神社の南西 (村道から28段の石段を上った先)

【解説】 壬生沢諏訪神社のそば、石段を登った先に静かに佇む「明神石」。長径約2.5m、短径約1.8m、高さ約1.2mの楕円球状のこの巨岩は、太古の昔に壬生沢川の氾濫で伊那山地からもたらされたと推測されています。名前の由来は、諏訪大社から御神体を迎えた際、社殿が完成するまでこの岩の上に安置したことが始まりとされ、子どもの力でも簡単に動くのに、大きな洪水にはびくともしない不思議な岩として、古くから人々に崇敬されてきました。現在は地域の皆さんが大切に管理されていて、村の歴史を伝える貴重な場所となっています。神社の参拝とあわせてぜひ訪れて、壬生沢に伝わる不思議な伝説に触れてみてください。